



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジー・ネットワークス
 コード番号 7474 URL <http://www.g-networks.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 阿久津 貴史

(氏名) 小西 隆弘

TEL 0836-83-5511

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,577	1.3	2	△89.8	4	△77.5	28	—
24年3月期第2四半期	3,532	0.8	26	90.9	19	△21.7	△29	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.22	—
24年3月期第2四半期	△1.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	4,659	2,233	47.9	94.71
24年3月期	4,652	2,204	47.4	93.49

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,233百万円 24年3月期 2,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,259	9.8	137	22.9	127	24.9	37	—	1.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	23,584,000 株	24年3月期	23,584,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,726 株	24年3月期	4,574 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	23,579,405 株	24年3月期2Q	23,579,654 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付けで受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に対する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 追加情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、数年前より起きている世界経済の停滞の影響を引きずり、景気回復に対しては実際の景気状況に加え、依然として漠然とした閉塞感に覆われている状況で推移いたしました。

このような外的環境の下、外食業界においては引き続きお客様の節約志向が続いており、当業界を取り巻く経営環境は引き続き、厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社では主力事業である外食事業が低価格競争の中で苦戦を強いられておりますが、各業態の着実な改善等の取り組みにより、夏場以降、着実に実を結び始めております。

当第2四半期累計期間における業績は、売上高は3,577百万円(前年同四半期比1.3%増)となり、営業利益は販売促進による費用の増加等により営業利益は2百万円(前年同四半期比89.8%減)、経常利益は4百万円(前年同四半期比77.5%減)、税金費用の負担減もあり四半期純利益は28百万円(前年同四半期は29百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

①外食事業

外食事業につきましては、抜本的な改善として不採算に陥っておりました大型店舗の撤退と、より利益を創出し易い小型店舗の進出を進めて参りました。業態別に見ても、主要業態である「おむらいす亭」が売上、利益共に改善を果たすと共に、昨年は食中毒事件、セシウムによる風評被害で苦戦を強いられた「カルビ大陸」「しゃぶしゃぶすき焼き清水」においては利益面で改善の兆しが見えております。他業態においても着実に改善が進んでおり、売上高は2,885百万円(前年同四半期比0.4%増)となり、セグメント利益(営業利益)は104百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

(おむらいす亭)

売上面においては新規出店に加え、既存店におけるメニュー開発を強化し、「夏はパフェ」「冬はドリア」というメニュー拡充を実現しております。結果、ディナー時における売上が拡大されております。利益面においては、効率化の推進と設備導入により、より利益を創出しやすい仕組みへと昇華いたしました。

(長崎ちゃんめん)

特化業態と位置づけ、抜本的な改善に着手しております。具体的にはスープの改善、新メニュー開発による顧客満足度の向上を図り、集客力を向上させる共に、ピークタイムにて最大の売上を獲得できるよう一部店舗での発券機の導入等による、オペレーションのスピードアップにも着手しております。

(その他業態)

昨年は食中毒事件等による風評被害で逆風に立たされた「カルビ大陸」「しゃぶしゃぶすき焼き清水」、業態改善を行って参りました「穂の川製麺」において利益改善を実現いたしました。また、居酒屋「とりあえず吾平」も第1四半期から引き続き、堅調に推移しております。

②教育事業

教育事業につきましては、当第2四半期においては売上高376百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。英会話教室「NOVA」は引き続き堅調に売上高が推移し、販促の強化等により一時的に利益を圧迫いたしましたが入入ベースにおいては着実に伸びてきております。学習塾「ITTO個別指導学院」においてもNOVAと同様に販促を強化する事により利益を圧迫いたしましたが入入の源泉となる生徒数は純増しております。なお、セグメント利益(営業利益)は15百万円(前年同四半期比54.0%減)となりました。

③食品加工事業

食品加工事業につきましては、既存外食店舗での売上減少に伴う出荷減少の影響を受けており、既存業態に頼らずに利益創出できるよう外販営業を強化しております。当第2四半期における売上高は106百万円(前年同四半期比34.8%減)、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同四半期比76.3%減)となりました。

④その他の事業

その他の事業につきましては、建築施工及び設備メンテナンスを行っております。事業として堅調に推移しており、売上高は208百万円(前年同四半期比50.6%増)、セグメント利益(営業利益)は17百万円(前年同四半期比14.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は4,659百万円となり、前事業年度末と比較し7百万円増加しております。負債総額は2,426百万円となり、前事業年度末と比較し21百万円減少しております。純資産は2,233百万円となり、前事業年度末と比較し28百万円増加しております。その結果、自己資本比率は47.9%となり、前事業年度末と比較し0.5ポイント増加しております。

変動の主なものは、資産では現金及び預金の減少38百万円、負債では買掛金の減少119百万円及び短期借入金の増加170百万円、純資産では利益剰余金の増加28百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想に関しては、平成24年5月15日に開示いたしました「平成24年3月期決算短信(非連結)」からの変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ2,309千円増加しており、税引前四半期純損失は2,309千円減少しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	245,387	207,281
受取手形及び売掛金	233,625	208,523
商品及び製品	22,123	35,732
仕掛品	7,851	3,259
原材料及び貯蔵品	69,595	64,304
その他	298,465	233,035
貸倒引当金	△11,697	△9,174
流動資産合計	865,351	742,963
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	946,545	970,446
土地	1,371,668	1,371,668
その他(純額)	179,132	202,849
有形固定資産合計	2,497,347	2,544,964
無形固定資産		
投資その他の資産	47,380	48,946
敷金及び保証金	887,916	864,926
その他	368,276	471,622
貸倒引当金	△13,981	△13,513
投資その他の資産合計	1,242,212	1,323,036
固定資産合計	3,786,939	3,916,947
資産合計	4,652,291	4,659,910
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,984	168,333
短期借入金	210,000	380,000
1年内返済予定の長期借入金	334,424	303,424
未払法人税等	58,725	36,710
引当金	43,853	12,360
資産除去債務	5,292	9,532
その他	374,638	423,637
流動負債合計	1,314,917	1,333,997
固定負債		
長期借入金	919,792	872,080
資産除去債務	127,477	143,155
その他	85,614	77,411
固定負債合計	1,132,883	1,092,647
負債合計	2,447,800	2,426,644

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,715,000	1,715,000
資本剰余金	521,970	521,970
利益剰余金	△31,752	△2,965
自己株式	△727	△738
株主資本合計	2,204,490	2,233,266
純資産合計	2,204,490	2,233,266
負債純資産合計	4,652,291	4,659,910

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,532,048	3,577,647
売上原価	1,334,611	1,392,073
売上総利益	2,197,437	2,185,574
販売費及び一般管理費	2,170,635	2,182,829
営業利益	26,801	2,744
営業外収益		
受取利息	1,770	1,675
受取配当金	259	259
投資不動産賃貸料	39,751	34,459
その他	18,749	22,748
営業外収益合計	60,531	59,142
営業外費用		
支払利息	12,952	13,130
不動産賃貸費用	44,109	37,040
その他	10,439	7,259
営業外費用合計	67,501	57,430
経常利益	19,832	4,457
特別利益		
固定資産売却益	123	1,482
会員権売却益	909	—
特別利益合計	1,033	1,482
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	12,391	1,860
店舗閉鎖損失	12,631	17,575
減損損失	—	16,669
特別損失合計	25,023	36,105
税引前四半期純損失(△)	△4,157	△30,165
法人税、住民税及び事業税	23,383	26,944
法人税等調整額	1,772	△85,896
法人税等合計	25,156	△58,952
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,314	28,786

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(固定資産の譲渡)

当社は、平成24年9月14日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を決議し、平成24年9月28日に譲渡先との間で不動産売買契約を締結しております。

その概要は、下記のとおりであります。

1. 譲渡の理由
財務体質の強化・改善を図るため
2. 譲渡する相手会社等の名称
第一交通産業株式会社
3. 譲渡資産の内容
山口県下関市阿弥陀寺町13番15、16、20
土地(旧敦煌下関店) 1,399.95㎡
4. 譲渡の時期
平成24年12月10日
5. 譲渡価額
215,000千円